

第44回田川地区中学校新人体育大会 卓球競技 実施要項

- 1、主催 田川地区中学校体育連盟 田川地区各市町村教育委員会
- 2、期 日 平成25年9月21日（土）、9月22日（日）
- 3、会 場 小真木原総合体育館
- 4、参加資格 田川地区中学校体育連盟の第1、第2学年在籍の生徒で、学校長の許可を得た者。

5、参加人員

*男、女団体戦 各校1チーム（4～10人）

*男、女個人シングルス I部、II部(どちらも「1,2年オープン」とする)

(1) 上記のようにIとII部の2部制にする。どちらも1,2年オープンとし、出場人数等の制限は設けない。ただし県新人戦の北ブロック大会に出場できるのはI部で代表権を得た選手のみとする。II部からは出場できない。

(2) I部, II部とも、試合形式は3人～4人の予選リーグを行い、その後、決勝トーナメントを行う。

6、競技規則

(1) 競技は平成25年4月1日一部改正の日本卓球ルール、同ルール細則に基づいて行う。但し、次の点を特別に定める。

(イ) 団体戦のベンチ入りは、選手10名、監督（当該校の校長・教員）1名、学校長の承認を得た指導者1名、計12名以内とする。

(ロ) 個人戦ではアドバイザーを選手一人につき1名（当該校の校長、教員、生徒、学校長の認めた指導者）認める。ただし、途中からのベンチ入りは認める

が、途中交替は認めない。また一度出たベンチに戻ることも認めない。

(ハ) 審判に対するアピールは、団体戦では監督（いないときは主将）、個人戦では本人とする。

(ニ) 1 ゲーム 10 分経過時に促進ルールを適用する。

（ 9-9からは入らないが次のセットから入る ）

(ホ) 服装は規定の半袖・短パンを着用し、背中にはゼッケンをつける。

ベンチの監督は選手同様のしっかりした衣類を着用する。

(ヘ) タオルの使用は、両者の得点合計が6の倍数の時にのみ認める。

(ト) 競技者は1マッチのゲームとゲームの間に1分以内の休憩時間を要求することが出来る。

(2) 本大会は、新人県大会（北ブロック大会）の予選会も兼ねる。

団体戦は、男女とも上位2チーム、個人戦は男女ともI部で代表権を得た選手上位8名とする。II部からは県大会に出場できない。

(3) その他、必要な事項は監督会議の時に打ち合わせをする。

7、競技方法（競技は全て11本の5ゲームズマッチで行う）

(1) 進行について

- ・ 9月21日（土）男女団体戦 予選リーグ→決勝リーグ（またはトーナメント）まで（午後4時頃 終了予定）
- ・ 9月22日（日）男女シングルス1回戦～決勝戦まで
閉会式（午後4時頃 終了予定）

(2) ア 団体戦は原則として予選・決勝ともリーグ戦形式で行う。

ただし決勝についてはトーナメント形式もありうる。

◎ 予選リーグについては申し込み数によって、リーグの編成を決める。

イ 個人戦は 予選リーグ(3人～4人)→ 決勝トーナメント方式で行う。

(3) 団体戦は1～2台進行を原則とするが、進行状況によっては3台使用をお願いすることもある。

(4) 団体戦は、4単1複とする。1・2・4・5番にシングルス、3番にダブルスを置く。選手は重複して出ることができない。

(5) 団体戦では、原則として6人の選手が必要であるが、次の規定により4人又は5人の出場も認める。

* 4人の時は1・2番、5人の時は1番を棄権扱いとする。

* 県大会の規定により、参加は予選リーグのみとし、決勝リーグおよび決勝トーナメントには出場できない(つまり県大会には出場できない)

(6) 選手の変更は認めない。

(7) 団体戦は3点先取とする。

(8) 試合球は日本卓球協会公認球(40mmボール白)とする(主催者側で用意する)

8、申し込み

(1) 申し込みは別紙の選手申し込み用紙に記入し、申し込む。

(2) 申し込み締切日 8月29日(木)必着のこと F a x不可

(3) 申し込み先

〒997-0011 鶴岡市宝田二丁目8番34号

鶴岡第二中学校 高橋 弘文 宛

☎ 0235-22-8323

9、組み合わせ

***組み合わせ委員**

齋藤 秀隆（鶴一） 南波 純 （鶴一） 高橋 弘文（鶴二）

佐藤 浩之（鶴三） 菅原 浩勝（鶴三） 大澤 美佳（余目）

***組合せ会議**

9月 5日（木） 午後2：00より 鶴岡第二中学校

10、監督会議 9月21日（土） 8時40分より役員室で行う。

11、表彰 団体、個人シングルスとも、第3位まで表彰する。

12、その他 県大会について

北ブロック大会 10月19日（土） 酒田市体育館

決勝大会 11月 9日（土） 山形県総合運動公園体育館